

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2013年度 Vol.1

環境情報活動センターでは 年間33回の環境学習講座を開催 (2012年度実績)

さき布から「ぞうり」を作ろう

4月28・29日

講師 ぞうり研究家 宮嶋清司氏

家庭にある余り布や、もう着なくなった衣類を裂いてオリジナルの「ぞうり」を作りました。限りある資源をリサイクルすることで、物を大切に作る心や、創作する楽しさを多くの方々に学んでいただく講座です。2日間の連続講座で一足のぞうりを完成させました。



初日の作業はぞうり本体をつま先から18cmまでを編みました。最初の出だし部分をクリアすれば、あとは手つきも滑らかです。

2日目は鼻緒と前緒を付けます。鼻緒は、縄あみ鼻緒、三つ編み鼻緒、ソフト鼻緒の3タイプがありますが、本講座で作るのはソフト鼻緒です。皆さん、近くの方々と協力して完成までの作業を楽しんでおられました。



参加者からは、「前々から興味があり、念願叶ってやっと当選しました。完成まで体験できて感激もひとしおです」との声が聞かれました。

「ぞうり」ができ、友達もできて、ハッピーで充実した2日間となったようです。

牛乳パックで作る

「紙とんぼ」と「びっくり箱」 5月6日

講師 子供向けワークショップ 開催団体代表 水野さゆり氏

牛乳パックなどの飲料用の紙パックは、間伐材や加工時に出る余った部分を原料として作られています。飲料用紙パックがしっかりとリサイクルされていることを学んだ後、紙パックを使って[びっくり箱]と[紙とんぼ]作りに挑戦しました。

【びっくり箱】

写真の様に紙パックをカットし、輪ゴムを付けた数枚の紙パック片を箱の中に入れます。箱のふたを開くと・・・紙パック片が勢いよく飛び出るので、顔を近づけないよう注意して行いました。



【紙とんぼ】

紙パックの胴の部分から、とんぼの羽根となる2.5cm×9cmの紙片2枚をカットします。ストローの端に切り込みを入れ、紙片2枚を差し込んで‘ホチキス’で留め、左写真のように羽根を曲げます。さて飛ばしてみましょう。



教室の中はみんなの明るい声でいっぱいでした。

今年こそ緑のカーテンを作ろう

5月12日

講師 しながわ区民公園管理事務所長 丸山均氏

前半は種まきから苗の植え付けまで、講師の昨年の観察記録（右写真）、育成環境、適温、用土、肥料等の詳しい解説があり、後半は実習でした。



参加者には種の植え付け鉢としてプラスチック製のトレーと紙製のエコ鉢が配られました。紙製のエコ鉢は鉢のまま移植でき、環境にやさしいすぐれものです。種はゴーヤと朝顔の二種類が配られました。ゴーヤの種はとても硬いので発芽しやすくするため、種の尖った方を爪切りなどでカットします。種は切った方を上にして入れ、土をかぶせます。

紙のプレートに日付を入れて差し込み、たっぷり水遣りをしました。本日の実習はここまでです。

家に持ち帰り本葉が2~4枚揃ったら本植えです。プランターに鉢底石、赤玉土、培養土の順に入れ、苗を植え付け、水をたっぷり与えます。

40日ほどでツルが伸び出し、添え木が必要になります。（左写真）

設置場所が高層住宅の場合は人工授粉の必要があります。バルコニーでの花芽への授粉作業は危険も伴いますので、十分注意しましょう。



しながわ中央公園をメイン会場としてしながわECOフェスティバル2013が開催されました。

●くらしを守る青空市

品川区消費者団体連絡会主催による青空市では、「新鮮なもの 安全なものを即売！」ののぼりが、野菜や果物を求めるお客さんを呼んでいました。



●ごみ、資源回収

回収容器の準備ができました。使った人（お客さん）や高校生のみなさんの協力により、きれいに分別回収されていました。



●再生園芸土の無料配布及び不用園芸土の回収

このコーナーも大人気でした。用意した再生園芸土800袋は、午後早くなくなりました。



●「エコな車」乗車体験

次世代エコカー「燃料電池車」（写真右）の乗車体験をしました。聞こえる音はタイヤと道路の摩擦音とエアコンの音だけでした。

電気自動車（写真左）もそうですね。



濱野区長の挨拶の後、資源リサイクル活動等を推進してきた25団体に対し、感謝状と記念品が贈呈されました。



●ステージアトラクション

恒例のステージアトラクションは今年も健在です。各種のアトラクションが、観客の盛んな喝采を浴びていました。



私にも始められる育エネ・省エネ生活

5月19日

講師 家庭の省エネエキスパート 林彰一氏

前半は「育エネ・省エネ」についての講義がクイズを交えて行われ、後半はグループに分かれて節電について活発な情報交換、意見交換がありました。



「育エネ」とは、まだまだ馴染みのないことばで、ことばの意味とともにその取り組みの具体的な方法をお話いただき、省エネについては家庭でできる省エネの知恵を教えてくださいました。知ると知らないとは大違い！ 講座を聴いて得した気分になりました。

講師から、太陽光発電をはじめとして自宅で行っている「育エネ・省エネ」について、数値を交えた説明があり、受講者の皆さんは体験を共有することができました。また今後実行できそうな行動のヒントにもなりました。

更に、実用的な育エネ・省エネ情報について、最新の動向を踏まえた紹介もあり、熱心に受講して頂いた皆さんにとって、実り多い2時間だったと思います。

講座では、太陽光で発電した電気を貯めたリチウムイオン電池がパソコンとプロジェクターの電源として使われました。まさにグリーン電力の講座ですね。



生物多様性って？

生物多様性って…

生き物がたくさんいることでしょうか？

色々な生き物がいることでしょうか？

これから4連載で生物の多様性をなぜ守らなければならないのかについてお話しします。

生物多様性を守る国際的な取り決めを書いた条約として、生物多様性条約があります。生物多様性条約には、次のように書いてあります。

「‘生物の多様性’とは、すべての生物（陸上生態系、海洋その他の水界(すいかい)生態系、これらが複合した生態系、その他生息又は生育の場のいかなを問わない) の間の変異性をいうものとし、種内の多様性、種間の多様性及び生態系の多様性を含む。」

「色々な種類がいること」とか「数多くの生き物がいること」など一言も書いてありません。条約の文章は難解ですが、キーワードは「変異性」です。

三省堂の大辞林では、「同種の生物の個体間にみられる形質の相違。普通、環境変異などの非遺伝的変異と、遺伝的な突然変異に大別する。」とあります。

例えば、同じ種類の植物でも咲いている場所によって花の色が違ったり、同じ種類の生き物であっても遺伝的に離れていることがあります。

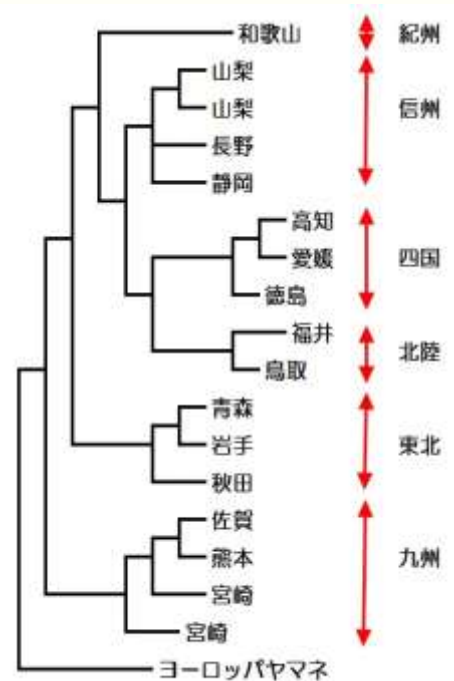


最近ではDNAの研究が進んでいます。写真は、ニホンヤマネです。日本には一種類しか生息していません。最近の研究では、6つの異なった遺伝子のグループがあり、特に九州のニホンヤマネは、日本列島が作られていく早い段階で枝分かれしています。(下図)九州の特異的な環境の中で育ち、生き残ってきた生き物なのです。

このように同じ種類でも遺伝子の系統が違っていることを遺伝子の多様性と言います。

同じ種類と思っても遺伝的に異なっていることも多く、安易に移動してはいけません。

ニホンヤマネは森の中に棲んでいる生き物なので、森林の伐採などによる生息場所の破壊の影響で絶滅の恐れが高い生き物なのです。



図：ニホンヤマネの種内多型の維持機構の解明(安田2007)の略図

草刈秀紀氏

(「野生生物と社会」学会フォーラム誌編集委員)

環境記者活躍中

「五反田綺麗にし隊」(清泉女子大学)は、五反田駅周辺や駅前の植え込み、タクシー乗り場のごみ拾いを定期的に行っています。

清掃活動を通して地域との交流を図りながら、ごみを捨てない街づくりを目指しています。綺麗で住みよい五反田の街を地域の方たちと共に作っていきたいと考えています。

昨年の「社会貢献活動しながわ」で出会った他の地域のグループと、ボランティア清掃活動を通じた交流も行っています。



区民環境記者募集中

環境情報活動センターでは、現在「区民環境記者」を募集しています。

花の開花情報、地域の環境イベント情報など、身近な環境情報をメールなどでお寄せくださる方を区民環境記者として登録します。いただいた記事や写真は環境情報活動センターのホームページなどに掲載します。区内在住、在勤、在学で環境に興味のある方のご応募をお待ちしています。

詳細は環境情報活動センターまで

E-mail : center@shinagawa-eco.jp

TEL : 03-5742-6533



環境情報活動センター 夏の講座ご案内

夏休み子ども環境学習講座

①②共通 対象/小学生(3年生以下は保護者同伴)

①生きもの博士になろう!

自然とのふれ合いから生きものについて学び、エコな作品作りに取り組みます。

日時/7月21日, 28日, 29日

(13時30分~15時30分)



写真は昨年開講時の写真

②キッチンからはじめるエコロジー 地球にやさしい旬の料理をつくろう!

身近な食を通して、楽しみながら環境について学びます。買物・調理・後片付けなど、すべての内容で環境に配慮した料理の作り方を学びます。

日時/8月7日, 8日, 9日(14時~16時)



●間伐材を使って 楽しい工作をしよう

(小学1~3年と保護者)

自分で作った「世界で一つだけの積み木」を使ってゲームを楽しみます。

日時/8月11日(日)

14時~16時



参考写真

●段ボールおもしろ教室 ~子ども用のイスを作ろう

(小学生と保護者)

段ボールについてのクイズ遊びやイス作りを楽しみます。

日時/8月23日(金)

14時~16時



●環境自由研究フェア (小学生)

環境に関する本を参考に自由研究に取り組んだり、実験道具を使って体験学習ができます。

日時/8月18日(日) 10時~16時(時間内、自由に)

場所/環境情報活動センター セミナールーム

講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページに掲載します。

しながわECOだより 2013年度Vol.1

発行: 品川区都市環境事業部環境課

編集: 特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日: 平成25年6月18日

住所: 〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX: 03-5742-6533

E-mail: center@shinagawa-eco.jp

HP: <http://shinagawa-eco.jp/>

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています